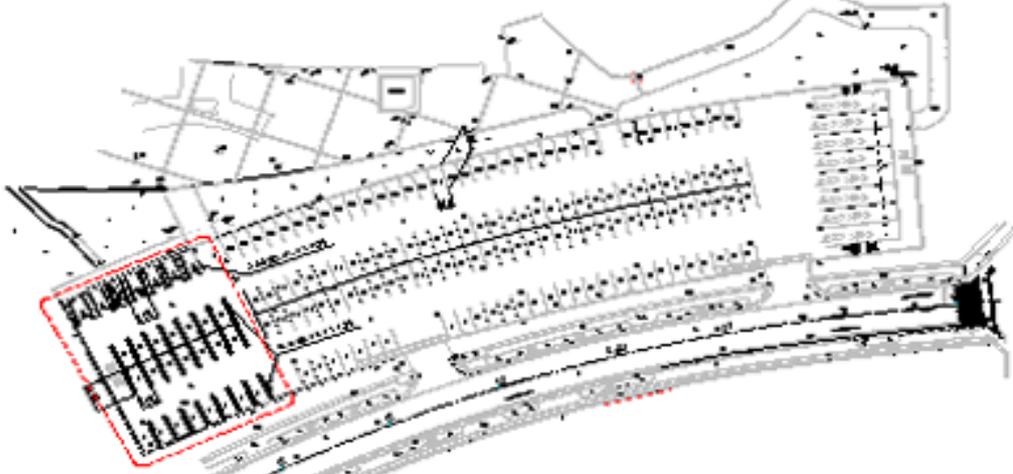


鳴門大塚スポーツパーク事例紹介(1)

鳴門・大塚スポーツパーク(正式名称:鳴門総合運動公園)



第一駐車場：ゆずりあい駐車スペース

公園では現在、ユニバーサルデザインに関するチューンアップを順次行っております。第1駐車場では、お年寄り、ベビーカー使用者、妊婦の方、身障者などの人のためのゆずりあい駐車場(赤枠線の部分)を設けました。



ゆずりあい駐車場標識。視覚に直接訴えかけられるように、大きくわかりやすい絵柄を採用しています。



路面にも大きくマークを描くことにより車内からでも容易に見ることができます。



公園内通路と庭園歩道の間は、従来段差がありましたが、段差をなくして車椅子使用者の方や視覚障害者の方が安心して通れるように改修しました。



駐車場と公園内通路との間の段差も、チューンアップにより解消しています。



公園内通路に舗装の色分けを施し、車いす使用者と視覚障害者のための優先通路としました。



公園内通路の排水路はグレーチング(金属製の網状の蓋)をやめて、開口部の小さいコンクリート製品にしています。こうすることにより、雨天時に滑って転んだり、車いすや自転車の車輪が穴に入り込むといった危険を排除することができました。



駐車場と公園内通路との段差の解消は、順次実施しています。また、車いすの方が車から降りて、すぐに公園内施設にアクセスできるように駐車場の位置も変更しています。(平成20年度施工)